

令和5年度 さくらがおか保育園 自己点検・自己評価

A:たいへんよい
B:よい
C:一部検討を要する
D:改善を要する

◎ 保育の計画の編成と実施に関する評価

項目	内容	評価				意見・改善策
		A	B	C	D	
保育目標について	(1)保育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。	○				引き続き、全職員での共有に努めていく。
	(2)目標は、各施設や地域の特色を生かしているか。	○				
	(3)目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。	○				
	(4)目標は、前年度の反省を生かしているか。	○				
	(5)目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。		○			
保育について	(1)指導計画は乳幼児も実態に即して作成しているか。	○				保育課程のもと、指導計画を作成している。援助の仕方など会議で話し合います。
	(2)保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っているか。	○				
	(3)環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか。	○				毎月各クラス、製作を廃材等で行い、展示している。
	(4)素材・用具を適切に活用しているか。	○				
	(5)評価結果を基に、保育の改善に努めているか。	○				
日時程	(1)1日の流れ(デイリープログラム等)は現行でよいか。	○				
行事について	(1)行事の種類や実施回数は適切か。		○			コロナウイルスが第5類に引き下げになり、行事をもとに戻し行う。
	(2)行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。		○			
	(3)乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。		○			
	(4)計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。		○			次年度より、アンケートをとるようにする。
	(5)保護者の願いや意見を取り入れているか。			○		
食育について	(1)食育の計画を作成し、よりよい食習慣や心身の健康の基礎を培うよう努めているか。	○				毎月、検討会議を行い季節にあったもの等見直し、改善している。
	(2)乳幼児にふさわしい食生活が展開されるよう食育について見直しや改善を行っているか。	○				

◎ 保育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

項目	内容	評価				意見・改善策	
		A	B	C	D		
経営・組織	分掌・体制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。		○			職務内容を明確にし、より良い体制となるようにしていく。
		(2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。		○			
		(3) 職員の配置は適材・適所か。		○			
		(4) 係や仕事の分担・割り当ては適切か。		○			
	運営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。		○			主任会議、クラス会議を週1回ずつ行い、全体で共有している。
		(2) 職員相互がそれぞれ全体的に立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。		○			
		(3) 打合せ回数、時間、内容は適切か。		○			
	年齢別・クラス運営	(1) 年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定しているか。	○				各年齢ごと話し合いを密にし、職員間のコミュニケーションをとっている。
		(2) 年齢別・クラス目標は、乳幼児の実態に即して設定しているか。	○				
		(3) 年齢別・クラス目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか。	○				
		(4) 同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実をはかっているか。	○				
		(5) 意義や趣旨を理解したチーム保育を行っているか。	○				
		(6) 評価、資料(諸記録)を集積しているか。	○				
	保健・安全指導	(1) 年齢別・クラス運営に生かされるような具体的な保健対策を講じているか。	○				保健対策として病気の流行や園でも出ていることを掲示している。 避難訓練は様々な想定をし、月一回行っている。
		(2) 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。	○				
		(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。	○				
(4) 乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。		○					
研究・研修	園内	(1) 研究主題は、保育目標の具現化につながるものであるか。	○				月に一回研修を行い保育を高めている。 二つのグループに分けて意見や考えを話しやすくしている。
		(2) 所内研修の計画・運営は適切か。	○				
		(3) 研究の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映されているか。	○				
		(4) 研究の実践による乳幼児理解が深まりを見せているか。	○				
	園外	(1) 各種研究会、研修会、講習会への参加体勢の充実を図っているか。	○				外部研修に参加後は、復命する機会をつくり全職員に伝えている。
		(2) 各種研究会、研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。	○				

項目	内容	評価				意見・改善策	
		A	B	C	D		
情報について	(1)乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか。	○				情報について、適正に処理している。	
	(2)公文書收受、発送、処理を適切に行っているか。	○					
	(3)各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理しているか。	○					
施設・設備	(1)施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。		○			遊具・用具等の整理保管方法を見直し改善する。	
	(2)遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。			○			
	(3)不審者等に対応する周到な配慮を行っているか。		○			不審者訓練は年に一回行っているが回数については検討する。	
	(4)掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。		○				
収納・経理	(1)各種会計を適正かつ適切に処理しているか。	○				適正に処理している。	
開かれた保育所づくり	施設間交流・連携	(1)他施設等との年間交流計画は、保育目標や課題に添ったものになっているか。	○				運動会・リズムフェスティバルは、三施設合同(みどり幼稚園、中村報徳保育園)で行い事前、事後の会議を行っている。
		(2)他施設等の幼児児童生徒と触れ合う中で、(乳)幼児が楽しく過ごし充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。	○				
		(3)指導者同士が、打合せや事前研修・合同研修を行い、互いの保育・教育に対する理解を深め、援助について共通理解を図っているか。	○				
		(4)参観や保育・授業等に参加するなどして、幼稚園・小学校の教育を理解しているか。		○			
		(5)日常的に情報を交換し、それを交流活動に生かしているか。	○				
	家庭・地域社会との連携	(1)参観時間を制限せず、保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。				○	保育参観について次年度は行うよう検討する。
		(2)保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。		○			
		(3)(乳)幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。		○			
		(4)地域の行事に積極的に参加し、地域の社会の文化や生活に触れているか。		○			
	情報の発信	(1)保育所だより・クラス通信・ホームページ等で施設の情報を発信しているか。	○				月1回の園だより・クラスだよりをホームページで伝えている。地域施設への発信が課題である。
(2)行事や子育て支援事業等を、地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。				○			
外部評価	(1)第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。		○				
	(2)地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。		○				